

## 普及現地情報

### ～いちご栽培を支える交配用ミツバチの安定供給へ～ 熊本県八代地域ポリネーション協議会総会の開催（八代）

令和元年6月28日（金）、JAやつしろ北部総合営農センターにて、イチゴ生産者代表、養蜂家代表、関係機関約30名が出席して「熊本県八代地域ポリネーション協議会」の総会を開催しました。

平成30年度は、ミツバチの供給については、10件の養蜂家から104戸のイチゴ生産者へ459箱の花粉用ミツバチが計画どおりに供給されました。また、イチゴ生産者の飼養技術については、養蜂家のアドバイスや優良事例を盛り込んだマニュアルを作成すると共に、現地検討会、講習会を開催し技術の向上を図りました。養蜂家からは「昨年よりハチの生存率が高かった。イチゴ農家の飼養技術が高まった」との声がありました。

令和元年度は、巣箱の交換、返却などの供給体制の強化やイチゴ農家の飼養技術の更なる向上について取り組めます。

農業普及・振興課は、イチゴ生産者の飼養技術向上を中心に、将来を見据えた継続的な交配用ミツバチの安定供給体制を構築し、八代地域のイチゴ生産振興を支援して行きます。

注）「熊本県八代地域ポリネーション協議会」：養蜂家とイチゴ生産者が連携し、交配用ミツバチの需給調整、飼養技術向上を目的に、県下初の取り組みとして平成29年8月17日に設立された。

種 類：③普及活動（途中経過）

関連する普及課題名：イチゴの収益向上、生産安定対策

HP掲載可否：可

連絡先

県南広域本部

農業普及・振興課 園芸産地づくり支援班 福永 博文